

8. OCT. 2015

Yoshio Okumura



『非芸非商の人』奥村 欣央

第6回

へのアート展

臨“生” 芸術 宣言!

生に向き合うことから

2017年6月27日(火)～7月2日(日)

10:00～19:00 (最終日は17:00まで)

東京芸術劇場5階 [ギャラリー1]

特別上映会場:東京芸術劇場5階[ギャラリー2]

特集
展示

関根正二

近代日本洋画史の中で異才を放つ
天逝の画家・関根正二の作品とそ
の生涯を紹介します。今回、貴重な
デッサン画を、信州・上田の「信濃
デッサン館」「無言館」の館主・窪島
誠一郎氏よりお借りすることが出来
ました。観覧無料。

■ 対談・臨“生”芸術宣言!

7/1(土) 窪島誠一郎×安彦講平

『自画像』紙、インク 1916年



特別
上映

『ニーゼと光のアトリエ』



(2015年・ブラジル・109分)
© TvZero
2016年12月17日(土)
ユーロスペースほかにて全国順次
ロードショー
配給:ココロ・動かす・映画社〇



1944年、ブラジルでひとりの女医が精神科病院の門を叩いた。旧態依然とした病院の常識をくつがえし、愛と芸術で人を癒したある女医の真実の物語。鑑賞無料。6/30(金)・7/1(土)

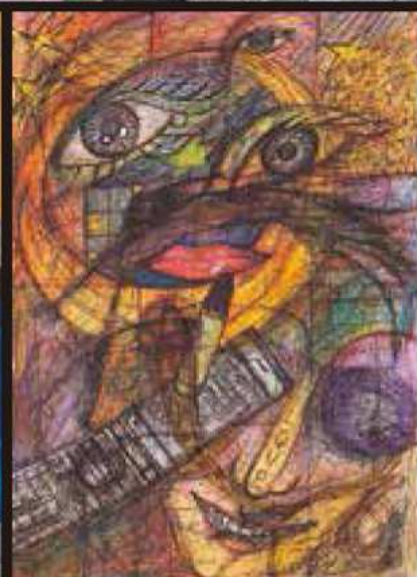
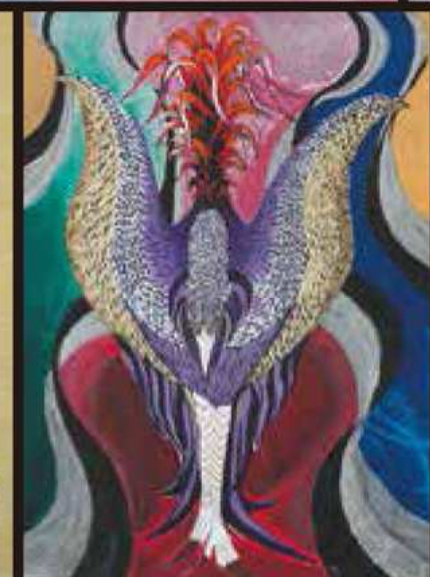
〈審査員〉

鹿島 晴雄 (国際医療福祉大学大学院教授)・齋藤 章二 (斎藤病院理事長・院長)・倉林 靖 (美術評論家)

田部井 月四 (日本画家)・安彦 講平 (〈造形教室〉主宰)

主催:一般社団法人 東京精神科病院協会

後援:東京都、東京都立中部総合精神保健福祉センター、東京都立多摩総合精神保健福祉センター、東京都立精神保健福祉センター、東京都立松沢病院、社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団



第6回 心のアート展 臨“生” 芸術宣言!

生に向き合うことから
2017年6月27日(火)～7月2日(日)
10:00～19:00 (最終日は17:00まで)
東京芸術劇場5階 [ギャラリー1]

■ 公募作品展示

協会会員65病院から公募し、一作一作、真摯に向き合い、心ゆさぶられ、熱意を込めて審査した「声なき声、眩き、ため息、独り言、そして魂の叫び」を表現した、迫力のある多様な世界を展示します。観覧無料。

■ 特集展示・関根正二

夭逝の画家・関根正二の貴重な『自画像』の原画を信州・上田の「信濃デッサン館」「無言館」の館主・窪島誠一郎氏よりお借りすることが出来ました。観覧無料。

■ 特別上映・『ニーゼと光のアトリエ』

(2015年・ブラジル・109分)鑑賞無料。会場：5階[ギャラリー2]

■ ギャラリートーク

「病む」とは何か、「表現」とは何か、「生きる」とは何か。実作品を前に作者や関係者の方々に、作品解説や制作の背景について語っていただきます。参加自由。

■ 座談会

審査員やゲストを交え、表現活動やアートの持つ力、意味、可能性について語り合います。参加自由。

■ 対談・臨“生”芸術宣言!

信州・上田の「信濃デッサン館」「無言館」の館主・窪島誠一郎氏と、当展覧会の審査員で〈造形教室〉主宰の安彦講平による「臨“生”芸術」をめぐる対談。参加無料。

6/30(金) 14:00～特別上映 / 17:00～特別上映
7/1 (土) 13:00～ギャラリートーク / 15:00～対談・臨“生”芸術宣言!
17:00～特別上映
7/2 (日) 13:00～ギャラリートーク / 15:00～座談会

東京
芸術
劇場

Tokyo
Metropolitan
Theatre

〒171-0021 東京都
豊島区西池袋1-8-1
TEL: 03-5391-2111

<アクセス> JR、東京メトロ、東
武東上線、西武池袋線池袋駅
西口より徒歩2分。池袋駅地下
通路の2b出口で直結しています。



上段左側から『空 kuu』(部分) 青木 芳男
『ホールの裏庭で』有理子 / 『禍熱』杉本 たまえ / 『シュールな人間』岩見 将平
『地獄遊園地』田村 次郎 / 『ある日の幻覚(ダリへのオマージュ)』古名 和哉
『春の葬送』本木 健 / 『銀河にいる賢治』江中 裕子
『反動』井上 至高 / 『僕の中の私』tetsuo / 『メイクアップシャドウ』レインボー

◎お問い合わせ先 一般社団法人 東京精神科病院協会
〒183-0055 東京都府中市府中町1-23-3 TEL: 042-352-0541 / FAX: 042-334-1434